

# 飯南

いinan

## 議会報

第37号  
平成26年4月18日

- 02 請願・陳情
- 03 可決された主な議案  
平成26年度 一般会計予算
- 04 一般質問
- 09 討論  
採決の結果
- 10 常任委員会報告  
議会全員協議会の議題  
議会活動報告
- 12 明日を拓く



# 3月定例会終わる

3月3日から3月18日までの16日間の日程で開きました。

平成26年3月定例会で提案された新規事業の内、主なものは飯南町役場本庁舎建設ならびに醸造施設改修工事です。

赤名地内にある醸造施設は、町内の製造業を維持するために飯南町が所有し、民間の会社が運営を行っていますが、建物の老朽化が激しく事業の継続に支障をきたすことが危惧されるため改修し、併せて昭和30年代の設備を更新し、効率的な生産ができるようにするものです。

この施設は、大注連縄創作館とともに文化伝承施設としての位置づけもあり、さらに観光資源としての活用も期待されます。

このほか、施設建設中の木質バイオマス事業、計画中の米乾燥調整施設など、平成26年度からは大きな事業が目白押しであり、緊張感を持って議論を深め、慎重な審査に努めてまいります。

## 「可決された主な議案」

### ■条例関係

飯南町地域の元気臨時交付金基金条例の制定など22件

### ■補正予算

平成25年度飯南町一般会計補正予算(第7号)など7件

### ■予算

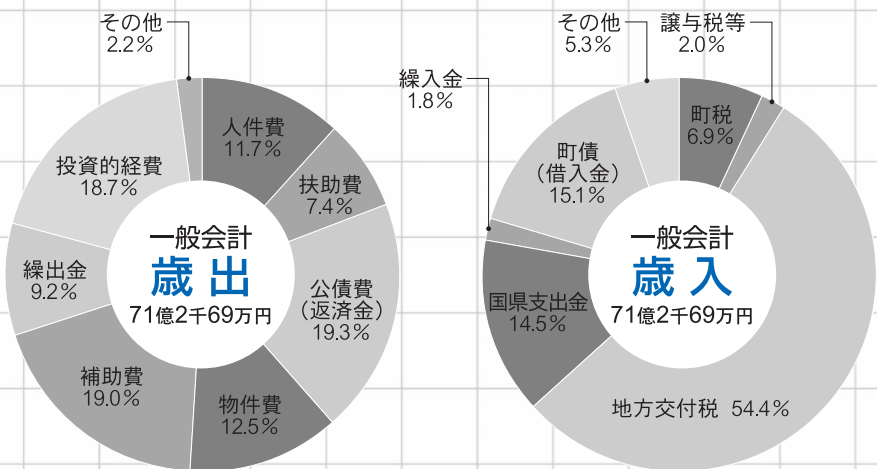
平成26年度飯南町一般会計予算など7件

### ■諸議案

飯南町過疎地域自立促進計画の変更など3件の施設(采島高齢者生活福祉センター)の指定管理者の指定など6件



## 【平成26年度 一般会計予算】



一般会計・特別会計・病院事業会計の総額は **99億4千831万円**

各会計	予算額	
一般会計	71億2千69万円	
特別会計	国民健康保険事業	6億6千420万円
	後期高齢者医療事業	1億7千555万円
	介護保険サービス事業	2千804万円
	簡易水道事業	3億5千611万円
	下水道事業	4億2千255万円
病院事業会計	11億8千117万円	

## 「請願」

高齢者の負担増と保険給付の削減を押し付け、市町村に責任を転嫁する介護保険の見直しに反対する意見書の採択を求める請願

### 「請願者」

松江市大正町442-16  
島根県社会保険推進協議会

会長 池淵 栄助

紹介議員 伊藤 好晴

総務厚生常任委員会

不採択

## 「陳情」

福田川の改良についての陳情

### 「陳情者」

飯南町下赤名1770

福田自治会長 宇山 寛元 外26名

### 「付託委員会」

教育経済常任委員会

### 「審査結果」

継続審査

町道田中屋線の道路整備についての陳情

### 「陳情者」

飯南町小田265

小田真木自治区長 奥野 憲明 外4名

### 「付託委員会」

教育経済常任委員会

### 「審査結果」

採択

町道前鉄穴線の改良工事についての陳情

### 「陳情者」

飯南町小田265

小田真木自治区長 奥野 憲明 外5名

### 「付託委員会」

教育経済常任委員会

### 「審査結果」

採択

# 一般質問

3月定例会



永井 章 議員

## Q 志々小学校の見直しは

本町の児童数は212人だ。特に少ない志々小学校は17人だが、今後の見直しを問う。  
①平成27年度の18人を最高に、5年後には10人と予想される。学級編成、教職員の配置、学校の対応は。  
②築後59年経過した木造の校舎は、平成12年に大規模改修が実施され現在に至っているが老朽化は否めない、今後の整備計画は。



志々小学校

## A 次期過疎計画で検討

教育長 安部 亘  
①現在3学級の複式編成で、教職員は定数の7人だ。児童数が15人以下になる平成28年度にはさらに2人減る。  
小規模校の統廃合が進んでいるが、こうしたことを招かないよう早急に子育て世代の定住を図らなければならない。  
②今後の児童数の推移から、大規模改修は困難と考えるが、志々小学校は地域のシンボルでもあり、活性化の大きな要素となる。  
次期過疎計画で整備を検討する。



## Q 定住対策をどうする

人口の減少率が低いのは、早くから定住対策に取り組んだ成果だと思う。引き続き重点施策として推進すべきだ。  
①合併から今日までに、定住対策によってU・イターナーの各地区ごとの実績は。  
②平成26年度定住対策事業の概要と、町の重点施策に「雇用を増やす」とあるが、働く場の確保のために具体的施策は。  
③志々小学校の児童数の減少を解消する手段はU・イターナー政策だと思いが、平成26年度の取り組みは。



## A 住みよい地域創造事業にも期待

町長 山崎英樹  
①合併から平成24年度までに190人が定住しており、内訳は「赤名33人・来島64人・原79人・志々14人」の状況だ。  
②農業を目指す人材確保、医療・福祉施設での就労確保、また、誘致企業、町内事業者の雇用をふやす事業展開へのサポートなどを通じて働く場の確保に努める。  
③子育て世代の定住促進を図るため世帯向け住宅を建設し、環境整備に努める。  
また、志々地区では住みよい地域創造事業の計画が進んでいるが、こうした地域づくりによって、児童・生徒の増加につなげたい。

# 一般質問

3月定例会



内藤 眞一 議員

## Q 八神地区の買い物対策は

八神地区の食品・雑貨スーパー(あい・愛)が閉鎖して3カ月だが、地区の現状と今後の生活支援計画は。

## A 地元の意向を聞き支援

町長 山崎英樹  
買い物対策は深刻な問題だが、志々地区では「飯南町住みよい地域創造事業」に実践組織「わっしょい志々会」を中心に取り組み、その活動の中で地域の課題として検討していると聞いている。  
また、移動販売、店舗再開の動向もあり、地元の意向を聞き、安心して住んでいただけるよう支援したい。



再開が待たれる旧「あい・愛」

## Q 福祉バス・高齢者対策等について

高齢化の進む当町では、バス停まで歩くことさえ困難な方がある。今後、福祉バス等運行の考えは。  
社会福祉協議会に委託し配食サービスを行っているが、今後増強する計画は。

## A 実情に応じて検討

住民課長 朽木博文  
本町の高齢化率は40%を超えている。自宅から利用可能な制度は、谷自治振興会の輸送活動のみだ。実情に応じた地域交通対策を検討したい。  
また、デマンド型バス等も調査研究したい。

## A 配食提供対応を

保健福祉課長 三上光一  
配食サービスは現在79名の利用がある。  
平成26年度は、「介護保険事業計画」の見直しの年であり、柔軟に対応していきたい。

## Q 木質バイオマスその活用は

下米島甲茂地区の木材ストックヤードはいつ稼働するのか。破碎製品は家庭用暖房燃料として活用できるのか。市販のストーブは高価だが、調査データはあるか。

また、数件の「木質バイオマス」と名のつく事業提案があるがその関連はどうか。

## A 森林組合が主体で

町長 山崎英樹  
本町の地域資源活用を図るため「緑の分権改革推進事業」に取り組んでいる。  
その一環として、木材の集積、加工をするためストックヤード整備を飯石森林組合が事業主体で進めており、10月ごろ稼働の予定だ。

## A 国の認定得たい

産業振興課長 中祖 勉  
製品はおが粉と薪であり、おが粉はキノコ菌床用・堆肥製造・畜産用副資材、薪は家庭暖房燃料用、温浴施設ボイラー用、ビニールハウス加温用と考えている。  
薪ストーブの調査はしていないが、相場は40万円以上と聞く。

また、木質バイオマスと名のつく事業は、バイオマスタウン構想を実践するための事業で、さらにバイオマス産都市として国の認定を得て一層の推進に努めたい。



# 一般質問

3月定例会



高橋 英次 議員

## Q 危険な空家対策は

空家は適時管理がされないまま年数を経ると、廃屋となり、さらに危険家屋になる。これが、通学路や生活道路沿いに存在するとなれば、倒壊や強風による建材の飛散などで身体への危険が及ぶ。また、地震などの災害発生時には避難する妨げになるおそれもある。



倒壊が始まった空家

## A 条例制定をめざす

町長 山崎英樹  
本町には空き家が237戸ある。その内、利用可能と思われる物件が97戸、解体が必要と思われるもの5戸、残り140戸は調査をしなければ判断できない。また、建物だけでなく、塀や看板などの工作物も含めれば、危険と思われる物件は20から30戸になると想定している。家屋は個人の財産で、立ち入ること、手を加えることにも制限があり、法的な根拠がなければ何もできないので、早期に条例制定をめざしたい。

## Q 地域活性化に力を

中期財政計画の普通建設事業費は、平成27年度の20億200万円をピークに、平成29年度は6億2,800万円、完全一本算定となる平成32年度以降は5億5,400万円台が続くと示されており、建設業界には大変厳しい数値になっている。様々な業種で雇用の場確保のため努力されているが、若い後継者へさらなる後押しが必要だ。

## A 財源確保して推進

町長 山崎英樹  
平成27年度には本庁舎建設、カントリーエレベーター、赤名小学校大改修などの大規模な施設整備があり、合併後最大になる。税金を増やすために、積極的な企業誘致や起業支援を行い、安定した雇用確保による所得の拡大を進めたい。地域経済が疲弊しないよう、地方交付税の確保をはじめ、有利な補助金などの特定財源を導入し、財源確保したうえで経済活性化、公共事業の推進に努める。



朽畑橋基礎工事

# 一般質問

3月定例会



伊藤 好晴 議員

## Q 学習支援館運営の実態は

学習支援館の事業委託について、  
① 常勤講師の雇用について、労務管理状況を把握しているか。雇用保険・社会保険の加入はどうか。  
② 生徒から、授業料以外の徴収はないか。ある場合、その使途は明確か。  
③ 塾の運営のため支出した金額を、証拠書類により確認しているか。  
④ 委託料は、全て税金である。不祥事を未然に防ぐため現状を質す。



## A しっかりと内容を把握

教育長 安部 亘  
業務報告書・収支報告書の提出を求めている。雇用契約の中身までは確認していないが、社会保険・雇用保険加入は指導している。業務報告書・収支報告書の検査をしっかりと行っていきたい。

## A 適正な執行に努める

町長 山崎英樹  
問題点の指摘、資料もいただいた。委託事業の内容チェック、指導監督に努め、立ち入り検査の実施も考え、適正な執行に努めていく。



## Q 介護保険法改悪に断固反対を

介護保険法改定案では、要支援者を給付の対象から外し、市町村任せの事業に移すとしている。今後は市町村の裁量に委ねられる見込みで、これまでどおりの支援を受けられる保証がない。特別養護老人ホームの利用が中重度者のみとされるため、行き場を失う高齢者が大量に出る。利用料が2倍になる上、居住・食費補助の廃止も盛り込まれている。介護保険の利用料は制度開

## A 町村会を通じ行動

町長 山崎英樹  
見直しはやむを得ない。国の財政措置・住民への丁寧な説明を求めている。審議の内容・制度設計などを注視し、島根県町村会・全国町村会などを通じて行動していく。

## Q 買い物難民解消を町が中心で

買い物などが不便な高齢者が増えている。解決には、自治体・事業者・個人が協力することが重要と考える。欲しいものを届けただけでは全てが解決したとはいえない。住みなれたこの土地でこれからも安心して過ごしていただくために、何が必要か考えなくてはならない。

## A 検討・協力しながら対応

町長 山崎英樹  
非常に大切な事柄であり、住民のみならず、民間のみなさんと検討・協力しながら対応していかなくてはならないと思う。



早樋 徹雄 議員

DEBATE

## 討論

### 平成26年度 飯南町一般会計予算

反対討論 伊藤 好晴 議員

給食費の月額2,000円の値上げは、消費税増税の中、保護者の負担をさらにふやすもので、看過できない。

指定管理料は減らしていく努力が必要だ。経営努力を促す指導を強く求め反対する。

飯南町交流物産館は事業のそもそもの役割を忘れ、目先の利益のみを追求する姿が見られる。

本町の生産物売り込むための先兵の役割を忘れてはならない。

賛成討論 永井 章 議員

飯南町総合振興計画の基本方針に基づき予算編成されている。財政健全化のため、引き続き特別職 職員の給与、管理職手当が減額され、そのうち職員減額分が、子育て支援に充てられている。

実質公債費比率は平成26年度末の見込みとして15.9%、健全財政に努めている。



### Q 来島基幹集落センターの改築を

当施設は、来島支所業務のほか、公民館、地域の文化活動など幅広く利用されている。また、図書室を縮小し学習支援館としても利用されているが、老朽化とともに手狭となっている。

来島基幹集落センターを将来的には複合施設として整備すると説明されたが、学習支援館の受講生も増加しており、教育支援の拠点、地域の拠点として早期に整備し、均衡ある地域発展を図る必要がある。



来島基幹集落センター

### A 次期計画策定に盛る

町長 山崎 英樹

来島地区の拠点施設として、昭和51年に鉄筋コンクリート一部2階建て建設。平成6年には図書室を増築し、現在は学習支援館の学習室としても利用しているが、耐震基準前の建物で、耐震性への懸念がある。

将来的には複合施設として整備することにしており、来島支所業務を担うとともに、本町の中央に位置する地理的特性を生かした教育拠点複合施設として、できるだけ早く整備する必要があると考えている。

平成28年度から始まる飯南町総合振興計画及び次期過疎地域自立促進計画へ位置づける。

### 請願第1号

### 平成26年度 飯南町国民健康保険事業 特別会計予算

反対討論 伊藤 好晴 議員

松江市の保険料は非常に高い。この保険料負担を本町で担うことになるのは不本意。国・県のいなり「国保の県一本化」に突き進む政策に反対だ。

賛成討論 永井 章 議員

長期的財政の安定と基金の枯渇を防ぐため、平成24年度から3年の間、保険料を10%引き上げるとされているので賛成だ。

高齢者の負担増と保険給付の削減を押し付け、市町村に責任を転嫁する介護保険の見直しに反対する意見書の採択を求める請願

反対討論 小野 覚 議員

介護保険費用は制度開始の3.6兆円から増え続けており、団塊世代が75歳になるとときには20兆円を越す見通しだ。

介護保険制度の永続的な運用が大切だが、この視点に触れられていないので反対する。

賛成討論 伊藤 好晴 議員

介護保険の見直しにより、要支援1・2の人のホームヘルプサービスとデイサービスの保険給付を廃止して、市町村の「地域支援事業」に移管する。利用者や介護事業者にとって大きな問題になるのは間違いない。「保険あつて介護なし」といわれてきた介護保険をさらに利用できなくするもので賛成だ。

### 【3月定例会】

全45議案のうち、反対があった議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	小野 覚	伊藤 好晴	永井 章	長島 正一	門 眞 一郎	熊谷 兼 樹	内 藤 眞 一	早 樋 徹 雄	高 橋 英 次
飯南町職員の給与の支給額の特例に関する条例の改正	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○
飯南町職員の管理職手当の特例に関する条例の改正	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度飯南町一般会計補正予算(第7号)	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度飯南町一般会計予算	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度飯南町国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○

### 【請願の採決結果】

高年齢者の負担増と保険給付の削減を押し付け、市町村に責任を転嫁する介護保険の見直しに反対する意見書の採択を求める請願	結果	小野 覚	伊藤 好晴	永井 章	長島 正一	門 眞 一郎	熊谷 兼 樹	内 藤 眞 一	早 樋 徹 雄	高 橋 英 次
	否決(不採択)	●	○	●	●	●	●	●	●	●

○賛成議員 ●反対議員

### 【第1回臨時会(2月7日開催)】

大注連縄創作館建築工事請負契約外7議案を全会一致で可決

### Q 農産物の生産拡大体制の構築を

農業振興計画達成には米以外の作物の生産拡大を強力に推進し、農産物の生産団地を目指していく必要がある。そのためには、中山間地域研究センター等関係機関と連携し、新たな特産作物の調査研究を行い、町を挙げて普及生産拡大を図る体制を構築していくことが必要と考える。



中山間地域研究センター

### A 農業振興の推進に努める

町長 山崎 英樹

高齢化により、農業従事者が減少していく厳しい状況の中で、農業後継者やU・Iターン者による農産物生産拡大と新規就農者育成を目指した支援をはじめ、これまでも振興作物としてメロンなどを推進に努めている。

さらなる生産拡大のため、中山間地域研究センター、県普及部、JA等の関係機関との連携強化に努め、必要に応じ、栽培技術指導員、農産物生産推進員等人材の配置をするなど、推進体制の構築を考えている。





学習支援館

## 教育経済 常任委員会

委員長 熊谷 兼樹



鉢上げしたトマト苗に  
液肥を与える森本さん  
(12P参照)



スクールバス

## 総務厚生 常任委員会

委員長 小野 寛

### 平成25年度 一般会計補正予算

#### 林地崩壊防止事業 690万円の減額

林地崩壊防止事業は個人負担が高額なため、申請者が辞退する事例がある。防災の観点から疑問があり、閉会中に調査を行う。

#### スクールバス整備事業 756万円の減額

スクールバスの発注が、職員の怠慢により遅れ、事業が実施されなかったことにより減額する。議会常任委員会は教育委員会に対し、二度にわたり指摘したことであり、猛省を求めた。

#### 審査意見

##### 新エネルギービジョン推進事業

事業は、町民に解りやすいシステムにすべきで、事業完了までの一連の流れを分離すると責任の所在が不明確になる。混乱を招く可能性があるので慎重な対応を求める。

##### 酒づくり交流館改築事業

事業は議会に対して計画段階で詳細な情報提供に努めるべきだ。また、過疎自立促進計画を変更し、1億円余を要する事業だが、過疎債を利用する他の事業に影響をあたえないよう配慮を求める。



赤名酒造

### 平成26年度 一般会計予算

#### 学習支援館運営事業 1,290万円

運営経費の実績報告、業務報告が明確になっていない、或いは労務管理が不適切との指摘があり、資料の提出、事実確認を求めた。

今後、社団法人化を検討するとしているが、慎重を期するよう求めた。

#### 新エネルギービジョン推進事業

産業振興課が一元的に推進してきている事業だが、その事務の一部を住民課に移管するとしている。住民に無用の混乱をもたらす可能性があり、慎重な対応を求めた。

#### 酒づくり施設の改修及び設備の更新事業 1億1,963万円

当地域での醸造文化継承のための必要性は認められるが、地域住民を巻き込んだ活性化策が不透明であり、丁寧な説明を求めた。

過疎自立促進計画を変更して行う事業であるが、議会への説明が不十分であり、慎重な対応を求めた。

## 議会活動報告 [1月～3月]

- 1** 8日 議会広報編集委員会:委員会報告、紙面校正作業  
12日 飯南町消防団出初め式  
14日 議会広報編集委員会:紙面校正作業
- 2** 7日 議会運営委員会:臨時会の提出議案、日程外の協議  
臨時議会:本会議、質疑、討論、採決  
議会全員協議会  
17日 議会運営委員会:  
19日 総務厚生常任委員会:生活路線バス調査  
21日 教育経済常任委員会:事業進捗状況調査  
24日 雲南広域連合議会2月定例会  
27日 議会運営委員会:3月定例会の提出議案、日程外の協議

- 3** 3日 3月定例会:本会議、町長提出議案の説明  
4日 :本会議、町長提出議案の説明、質疑、委員会付託  
7日 :本会議、一般質問  
10日 :委員会審査  
11日 :委員会審査  
12日 :委員会審査  
13日 :委員会審査  
14日 :委員会審査  
17日 :予算特別委員会審査、議会全員協議会  
18日 3月定例会:本会議、委員長報告、質疑、討論、採決  
27日 雲南市飯南町事務組協議会定例会  
28日 議会広報編集委員会:一般質問要約作業

### 平成25年度 一般会計補正予算

#### 教育費 250万円の補助金を返納

スクールバス整備事業の未執行による減額で、教育長から謝罪があった。

このような事態に至ったことに対し、財政担当課に見解を質した。それによると、少なくとも2回教育委員会を指導した。その後、年度内納車が不可能となることが判明したので補助金返納に至った。

#### 飯南町子ども等医療費助成条例の改正

飯南町が進める「子育て支援対策」として、子どもの医療費助成を行い、子育てを支援する。

現在は月額で入院2,000円・通院1,000円を上限として負担がある。改正により、中学校を卒業するまで医療費を無料にする。

#### 定住促進賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の改正

人口流出を抑制する目的で、子育て世代の住宅ニーズに対応し、入居資格を緩和する。また、25年以上居住する意思を明確化することで、安定的な定住人口の確保につなげる。

### 平成26年度 一般会計予算

#### 新エネルギービジョン推進事業

太陽光発電導入促進助成、ウッドボイラー導入促進事業の所管が産業振興課から住民課に移行することから、混乱が生じる危惧があり、意見書を付し適切な事業実施を求めた。

#### 集落支援員活動事業

勤務条件が「月17日以内」と明記されている。集落での活動を考えると、月何時間以内とするなど勤務実態に合った形にし、また地域づくり協力隊と同一地区に配置される場合、摩擦が生じないよう弾力的運用が求められると指摘した。

#### 保育所の一時保育延長

飯南町の一時保育は12日の利用制限となっているが、「日数の拡大は可能か」との質疑に、「法律で決まっているものではなく、県内の市町村でも15日を最高に、短い自治体で7日、一時保育の定めのない自治体もあり、今後検討する。」との答弁だった。



## 議会全員協議会の議題

- 2月7日  
①飯南町新庁舎建築設計  
②(株)フロンティアあかぎの経営状況  
③中期財政計画  
④町営バスの転落事故  
⑤志津見旧ダムJ V事務所跡地への定住住宅建設

- 3月17日  
①エコ米乾燥施設整備(カントリーエレベーター)  
②飯南町空き家対策条例  
③サプロ島根の破産に伴う清算事務の完了報告  
④放射性物質に汚染された堆肥の処理  
⑤八神地内のスーパーマーケットの動向  
⑥平成26年度医師・診療体制

# 明日を拓く



Ｉターンして奥畑で暮らされている森本哲也さん。

地元の出身だと思っっている方もいらっしゃるようです。濃厚にして芯の強い社交家である森本さんに町の定住対策についてお聞きしました。

## いつから自営されましたか？

去年の４月からです。Ｉターンしたのは13年前だったと思います。だいぶ紆余曲折がありました。

はじめに町内の農産施設でトマトの栽培技術を習得し、農業法人で社員として働いていました。縁あって昨年宇山地区の空きハウスをお世話していただき、生産を始めました。

## 農地確保までに時間がかかったようですが…

農業の部分で行政からの支援は受けられませんが、奥畑に永

く住んでいるので、地域の人から農業以外の部分でかなりの支援を受け感謝しています。

研修期間が終わると、町を出て行く人もいますが、わたしの場合は地域とのつながりがあったので、農地の確保ができない期間が長かったのに居続けることができました。



お話を伺った森本さん

## 就農する上で何が必要ですか？

飯南町にＩターン者が来るところまではよくできていると思うんですが、就農しようとするところで問題が出て来ます。労働集約型のハウスが2〜3棟でも確保できれば、それから先につながつていきやすいと思いますね。

今までに農地の確保ができず、やる気のある人達が出て行ってしまった例があります。研修の

部分は良いのですが、それから先が見えなくて断念している現状があります。

## どうすれば定着しやすいと思いますか？

Ｉターン者は借金ができないんです。この条件が整わないので、何とかする仕組みが必要だと思います。たとえば、25年住めば自分のものになる賃貸住宅の制度がありますが、ハウスにも同じような制度ができれば、私たちでもハウスが持てるのではないのでしょうか。

## 町への提案は？

集落営農や法人は、Ｕ・Ｉターン者を受け入れても出口の部分が見えていないことで不安があり、なかなか雇うことができません。受け入れた人をこれからどうしたらよいか見えていれば受け入れやすくなると思います。

住むところが必要。この町には不動産屋さんがないから、住むところを探すことができないんです。

若い人が気楽に住める場所があれば、都会なんかに行かずここに住む人はかなりあると思います。

## 今月の表紙写真



「実に栄養が届くよう、いらん葉は取るんよ。」と、ハウス栽培トマト圃場で摘葉指導しているのは上来島の山下さん。神戸市からＩターンして、この春から就農される中野さんには園芸作物のベテランから聞く一つ一つの話がお宝です。中野さんはパブリカ栽培をメインに圃場作りを進められているようですが、人気のあるトマト栽培にも関心を示されています。市場を考えた新しい農作物のスタイルが、ここにも芽を出しそうです。

## 編集後記

平成26年度第一号の議会広報をお届けしました。最後までお読みいただき、ありがとうございます。

3月定例町議会では、バス購入にかかわる不祥事など、いくつかの問題点が明らかになりましたが、今後このようなことが絶対に起きないよう、執行部には厳重に注意を促したところです。

これからも予算の執行、行政態度には十分な注意を払って議会活動すすめていきます。皆様のご指導とご協力をよろしくお願いします。

お気づきのことがございましたら、各議員、議会事務局まで何なりとお問い合わせください。

暖かくなり、農作業などが忙しくなります。事故などが起きないように十分お気をつけください。

議会広報編集委員会 伊藤 好晴